

学校規模等適正化に関する説明会（東香里小学校）における質疑回答

1. 日 時 平成 28 年 7 月 14 日（木） 午後 7 時から午後 9 時まで
2. 場 所 東香里小学校 体育館（参加者 94 名）
3. 事務局 管理部：俣野参事、益田参事、兼瀬課長、北村主幹、松尾代理、田中主任、廣瀬
4. 内 容

（質問 1）

答申には、市長の選挙公約にある少人数学級編制を踏まえた内容になっているのか。小規模校が駄目だという考え方には納得できない。また、学校統合により、避難所がなくなってしまうと不安に思う。さらに、春日小へは危険箇所があり、子どもを安心して通わせることはできない。

（回答 1）

答申には、ご指摘の少人数学級の考え方は反映されていません。また、学校は一定規模の集団生活の中で、クラス替えができる学級数が必要と考えています。避難所については、統合後の跡地活用に関わるため、地域の皆様方の声をお聞きしながら全庁的な取り組みとして検討してまいります。通学路については、学校統合の有無に関わらず、安全性の確保に努めてまいります。

（質問 2）

若い人を呼び込むために、この学校の敷地内に保育所をつくったらどうか。吹田市は児童数が増えている。見習って欲しい。

（回答 2）

学校施設の複合化については、平成 26 年度に文科省から推進に関する通達があり、市としても取り組む必要があるものと考えています。また、平成 40 年度まで児童数の推移を見定めていきますが、児童数が大幅に増加するなど予測を超える事態が生じた場合は適切に対応してまいります。

（質問 3）

この地域は東香里というブランドがある。学校がなくなるということで、ブランド価値を下げないで欲しい。地域が望んでいる方向性と統合は全く違う。また、人間関係のトラブルを解決できるからという考えでクラス替えをして欲しくない。

（回答 3）

仮に学校統合しても、それにより地域のブランド価値が下がるとは思っていません。また、クラス替えのできる学校にして欲しいという保護者からの意見もあり、教員の立場からも同様の意見が出ています。

(質問4)

なぜ、こんな日程で説明会を開催したのか疑問。若い人達の声聞けるような日程を優先すべき。土曜日か日曜日に設定して欲しかった。

(回答4)

日程については、配慮が足りませんでした。今後は、ご指摘の点を生かしてまいります。

(質問5)

昨年の12月に実施したアンケートの募集は全く知らなかった。周知方法はどうしたのか。また、統合ありきで話が進んでいるが、人口誘導策は答申に反映されているのか。

(回答5)

アンケート募集の周知方法については、ホームページや広報ひらかたに掲載するとともに、アンケート用紙を市役所の庁舎本館、別館、各支所、生涯学習市民センターに備え付けました。また、あわせて、学校を通じて保護者の方々へ通知文をお渡ししました。今後の取り組みの際の周知方法には万全を期してまいります。なお、人口誘導策については、答申には反映されていません。

(質問6)

この学校がいずれ廃校になるということを言われるとこの地区で家を探すのを避ける人が多くなってしまいます。平成40年度以降のことなのに、今統合の話が出てくること自体早すぎておかしいと思う。

(回答6)

人口減少及び少子化が進行する中で、枚方市の適正な学校配置の在り方について審議会に諮問し、全ての小・中学校に対して比較・評価しました。今後の児童数の推移などに予測を超える事態が生じた場合には、教育委員会として適切に対応してまいります。

(質問7)

3年後に学校がなくなるものと地域全体が見ているので、統合の件は一旦白紙に戻し、地域の誤解を解くよう広報誌に掲載するとともに、人口誘導策についても打ち出して欲しい。

(回答7)

答申の内容により、今後のまちづくりの支障にならないようにとのご意見をふまえ、基本方針の中で検討してまいります。

(質問8)

統合校は学級崩壊し、学校の特色の違いに不安を感じる。また、通学距離だけでなく、学校の特色や状況などはご存知なのか。

(回答8)

東香里小はとても落ち着いた学校であるとともに、地域連携において子ども達のためにさまざまな取り組みが行われていることも認識しています。また、統合校の状況や特色も注視する中で、子ども達の成長を見守っていきたいと考えています。

(質問 9)

東香里という校区をどのように見ているのか。以前は「京阪の芦屋」とも言われたこともあった。この地域をつぶさないで欲しい。優秀な小学校をなくすような恥ずかしいことはやめて欲しい。

(回答 9)

東香里校区については地域力があり、その特徴を生かしていくためにも、今後のまちづくりの妨げにならないよう取り組んでまいります。

(質問 10)

平成 40 年度までは統合しないとのことだが、児童数の推移によっては統合時期が早まることはあるのか。

(回答 10)

児童数が大幅に変動するなど、予測を超える事態が生じない限り、適正規模で推移していくものと考えています。

(質問 11)

学校がなくなると子どもの心のケアも大事。また、現場の先生方の声は聞かれているのか。小規模校ではフットワークが軽くいろいろな教育実践がしやすいのではないかと。10 年後の予測を早く伝えたいということだが、統合が前提では若い人達は来なくなり、この地区の人口が減って、統合が平成 40 年度より早まることになるのではと感じる。吹田市に負けないように、学校を残してまちづくりをして欲しい。

(回答 11)

クラスが増えることにより、教員の集団としての教育力が多様化・多彩化し、それが子ども達のために生かされます。よりよい教育環境を整備していくためには学校、地域、保護者が同じ思いで連携していく必要があるものと考えています。また、教育委員会としましては、拙速な学校統合は避けたいと考えており、少なくとも平成 40 年度までは児童数の推移を見定めていきます。

(質問 12)

大規模校が小回りのきかないことにデメリットを感じている。学校は統合するのではなくて、校区編成により学校を残すという視点で検討して欲しい。

(回答 12)

審議会では、校区の分断を避けることを前提に議論しています。また、小規模校の良さと同時に、学年集団として協力しあえる規模の学校の良さも感じています。それぞれに一長一短はありますが、子ども達にとってより良い教育ができる環境がつかれるよう取り組んでまいります。

(質問 13)

小規模校としてのマイナス面ばかりなので、枚方がこれから盛り上がっていきけるのかと思う。もっと前向きな話をして欲しい。暖かい環境で小学校に関わりたい。人数が減って仕方ないのではなく、学校を残したいという気持ちを汲んで欲しい。

(回答 13)

多くの方々からの声を聞かせていただき、この地域を盛り上げていきたいという強い気持ちが伝わりました。その思いを受け止めたうえで、今後の取り組みに活かしてまいります。

(質問 14)

東香里小を小規模校のモデルにしたらどうか。教員を増やし、吹田市よりも枚方市の方が、子育てしやすいのだというイメージをつける施策をして欲しい。早く悪いイメージを払拭してもらわないと人口が減ってしまうので、早い段階で白紙にするなり具体的な対策を示していただきたい。

(回答 14)

枚方市独自の施策を充実させながら、今後も引き続き、地域の方々と連携・協力しながら様々な施策に取り組んでまいります。また、教員の加配については、引き続き要望してまいります。